

アンケート(案)に関する意見及び事務局の回答

資料 4

種類	No.	設問番号	委員からの意見	事務局回答
市民用アンケート	1	全体	概ね素案通りでよいのではないかと思います。が、“ごみへの関心とリサイクル意識について”の項目で各種法律の列挙と認知度を知る為にもアンケート項目に入れてはいかがでしょうか。(例:家電リサイクル法・小型家電リサイクル法)	各種リサイクルに関する法律について、アンケート項目を入れることも検討いたしました。が、アンケートの設問数がかなり多くなることで、回答率が下がってしまう等の影響も考慮して、聞く質問を絞り、回答する側が回答しやすい設問数としております。
	2	問26	問26で“1”について次問は、問27ではないでしょうかまた“2”については、問28ではないでしょうか	アンケート(案)では問27については、問26で1を選択した方のみ回答していただく問題としておりましたが、精査したところ、問27は問26のどの選択肢を選択した方にも共通する問題であるため、特定の選択肢に選択した方が回答するように誘導する案内を削除いたしました。
	3	問3	選択肢「1.買い物にはマイバックを持参～」は、「マイバッグ」ではないでしょうか。	ご指摘ありがとうございます。ご指摘の箇所は修正いたしました。
	4	問4	選択肢「6」が見当たらないように思います。ご確認願います。	選択肢を修正した際に選択肢の番号を振り違えてしまったようです。ご指摘の箇所につきましては修正いたしました。
	5	問7	選択肢に「3.家庭用園芸用品の除草剤や殺虫剤」というのがありますが、私の過去の体験として、プランターで使った土(土壌)が不要になった際、市役所に問い合わせてもごみとして引き取れないと言われて困ったことがあります(結局、近所で畑をやっている人に引き取ってもらった)。和光市は集合住宅が多く、プランターの土の処理に困っているご家庭は多いのではないかと推測します。	問7の選択肢7に「家庭園芸用の土や砂」の項目を追加し、項目追加により影響があった以降の設問の番号を修正いたしました。
	6	問8	問8の設問文「【問8で1から7に○を付けた方にお尋ねします。】」は、「問7で～」ではないでしょうか。	ご指摘ありがとうございます。ご指摘の箇所は修正いたしました。
	7	問16	設問文「再利用推進のため市に取組してほしいことはありますか。」の「再利用」とは「リユース」のことでしょうか。「リサイクル」のことでしょうか。ちょっとわかりにくいように思いました。	ここでのいう再利用とはリユースを指しておりますが、ご指摘のとおりリサイクルと混同されやすいため、問14と問16の再利用という言葉のリユース(再使用)と表記して修正しました。
	8	問20	選択肢「6.両市を作りすぎないようにしている。」の「両市」とは「料理」のことでしょうか。ご確認願います。	ご指摘ありがとうございます。ご指摘の箇所は修正いたしました。
	9	問25-1	選択肢「6」が2つあるようです。ご確認願います。	ご指摘ありがとうございます。ご指摘の箇所は修正いたしました。
	10	問25-2	複数回答が単数回答かの指示がありません。ご確認願います。	問25-2の質問の後ろに(○はいくつでも)の文言を追加しました。
	11	問25-2	選択肢「3.ごみの減量は、市民の自主的な取り組み任せの方がよいと思うから。」は「取り組み*に*任せの方が～」のほうがよろしいかと思います。	ご指摘ありがとうございます。ご指摘の箇所は修正いたしました。
	12	問26	選択肢への回答によって他の質問に誘導する指示がおかしいように思います。ご確認をお願いします。	No.2で回答済み

アンケート(案)に関する意見及び事務局の回答

種類	No.	設問番号	委員からの意見	事務局回答
事業者用アンケート	13	問4(3)	”事業系ごみ有料シール券“について『※にてどのようなシールなのか但し書きを簡素に入れてはいかがでしょうか』	問4(3)に解説を追加しました。
	14	問3(2)	年間のごみ量の変動について、「年々増えている」「年々減っている」「変動はない」の3つの選択肢となっていますが、昨年から今年にかけてのコロナ禍によって業績が大きく変動したことによるごみ量の変動を想定した選択肢や質問形式を用意したほうがよいと考えます。	将来に渡って長期的なごみ処理の方向性を検討するにあたり、コロナ以前のごみ量の変動、コロナ禍の状況はともに把握する必要があります。ご指摘を踏まえ、設問を分けました。
	15	問4(2)(3)	ごみ有料シール券について、「貼っている」「貼っていない」のみでよいのか疑問です。貼り忘れや貼ったり貼らなかったりということはないのでしょうか。	和光市では、一般家庭で使用しているごみ集積所を利用して事業所がごみを出す場合については、家庭ごみと同じごみ分別・排出ルールに従い、事業系有料シール券を各袋ごとに貼って出すこととなっています。この質問を行う趣旨として事業者が善意・悪意に関わらず、事業系シール券を貼らずにごみ集積所に出している事業者がどれくらいいるかを単純集計したいため、貼り忘れや時々貼ったりという選択肢は外しました。
	16	問8	選択肢「4. 先進的な取組み事業所の事例紹介」には、たとえば先進的な事業者への表彰制度なども含まれているのでしょうか。もしそうであれば、選択肢を「先進的な取組み事業所の事例紹介や表彰」とした方が良いような気がします。	選択肢4の「先進的な取組み事業所の事例紹介」は先進的な取り組みを行っている事業所の情報提供のみを考えておりましたが、ご指摘の事項もごみ減量を行うための取組みとして有効であると考え、選択肢の5として「ごみ減量を積極的に進めている事業者への表彰制度の設置」を追加しました。
全体	17	全体	(その他) 大部分の複数回答(MA)形式の設問に共通の疑問ですが、選択肢内のロジカルチェックは行うのでしょうか。 たとえば、市民アンケートの問20で選択肢「1」～「6」に回答しており、なおかつ「7 特に何もしていない」や「8わからない」に回答している場合の矛盾処理はきちんと行っていただきたいと思えます。以前、和光市の他部署が行ったアンケートで、こうしたロジカルチェックを行わないまま集計していたケースがあるので(当然ながら、その集計結果の信ぴょう性は問われることになります。)、その点がちょっと気になりました。アンケートの実施、集計・分析は専門の外部事業者が行うのでしょからそうした間違いはそうそうないだろうとは思いますが、念のために担当者によるチェックも必要と思いました。	ご指摘のようなチェックを行わず集計していたということがないように、アンケート結果については市民の皆様や事業者の方から回答をいただいた後に、外部事業者と担当者で十分精査して集計・分析を行っていきます。